

問 今回の参院選の投票結果を踏まえ、今後の対応として、移動投票所などは考えられないか。

答 現在、（仮称）鹿角市投票率向上推進計画の策定に取り組んでおり、移動投票所等の導入も検討していく。



災害対策について

問 災害が発生する危険性が高い区域に居住する方の中には、防災のために転居を視野に入れざるを得ない方もいると思う。費用負担軽減のため、空き家の活用や市営住宅の斡旋などは可能か。まずは、ハザードマップを基にアンケートを実施し需要等を把握すべきではないか。

答 現時点でアンケート調査の予定はないが、土砂災害特別警戒区域内の家屋を除却

して移転する方や、がけ地の崩壊等の危険のある区域から移転する方に対する補助金のほか、空き家バンクの紹介など支援を行っていく。

問 水害には泥被害が付き物だが、被災住家の泥洗浄における高圧洗浄機の導入は、作業の効率化に非常に有効と感じた。市で貸出し用高圧洗浄機を配備する考えはあるか。

答 被災世帯の負担軽減を図る観点で、高圧洗浄機の導入について関係機関の意見を伺いながら検討する。

質問した項目

- 災害対策について
- 選挙対策について
- 企業誘致について

金澤 大輔 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分



録画配信はこちらから

問 災害避難所では有資格者を配置するなど、要支援者等の避難にかかる要綱や対策はあるか。

答 「鹿角市福祉避難所設置・運営マニュアル」により、市内福祉施設等と連携した運営体制を整えている。



8月豪雨災害について

問 不動川は以前から危険な状態であり尾去沢の新田沢川及び支流では農地被害が大きい。河川の護岸の嵩上げや浚渫などの対策が必要であり早急に取り組むべきと考えるが、市の対応は。

答 市が管理する河川を調査のうえ維持管理計画を作成し、河川の状態を良好に保つてゆく。

農地については、市の小規模災害復旧事業の活用を含めた復旧対策を協議していく。

かづのパワーについて

問 自前の電源を持つことで基盤が安定し、自助努力で生き抜くことができる。経済産業省の水力発電の導入加速化補助金の活用を図り、水力発電所を建設する意向はあるか。また、環境省の補助金活用も有効と考えるが、市の考えは。

答 引き続き地域の非FITの再エネ電源の調達交渉を進めていく一方で、自前の電源を持つことも必要であると考える。市が整備する手法だけでなく、かづのパワーへの売却を前提とした地域向け電源の導入支援を含め検討する。



録画配信はこちらから